「家がいいね」第２２８号

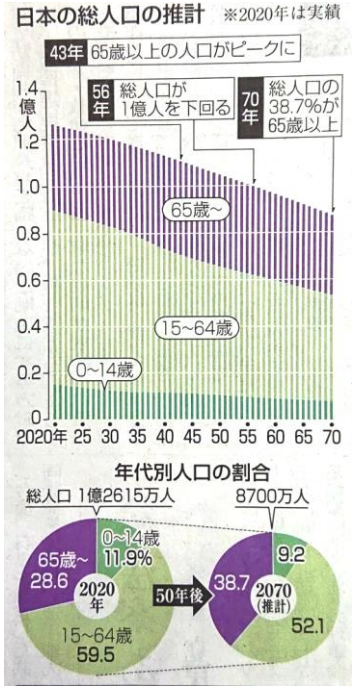
いせ在宅医療クリニック　広報月刊紙

2023.5.6

「目に青葉、山ホトトギス、初鰹」は視覚・聴覚・味覚を楽しませるイイ句ですね。

可視光を超え生物を育てる強い陽ざしに、ご注意を。

子どもが育つ社会って、ホンキで考えてる？



長寿社会、めでたいことです。でも「生き過ぎた」と当の本人が嘆くのは何故？と思います。今の世は、孤立化砂漠が広がっていると感じます。次の世代に「迷惑をかけたくない」と言い残し身を退くだけの考えも寂しい。

古来の余生は、引き継ぐものを手渡し、自ら寿ぐものでした。ご隠居や若年寄、世話焼き婆ぁ、復活歓迎。でも多数決は止めて。火事場泥棒も、戦争も、ダメよ。

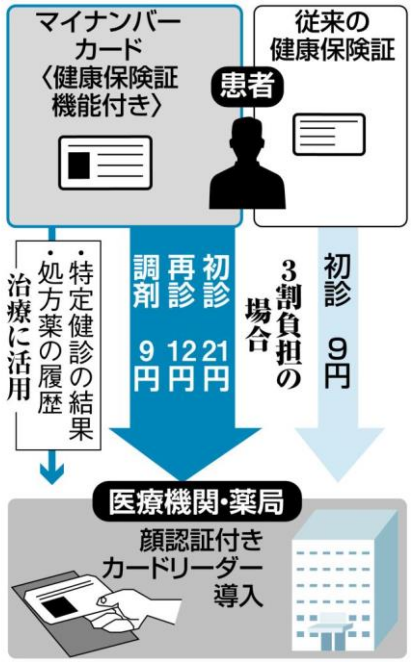
死に身近で触れてみたら、温かいのに

在宅の看取りでは、当たり前ですが、少し前まで生きておられて、お別れを体験する場です。

命を返し、体の役割も終わりにする時です。温かいわけです。

触れた余熱が家族も温める、そんな思いの現場に、在宅スタッフも同席します。実に替え難い経験であり、私の先の選択肢に入れてもいいと考えます。他に替え難いことを尊厳と思いますが、生き切る中で実現するものでしょう。

保険証を、オモチャみたいに扱うな！



マイナ保険証導入に伴う患者の追加負担の仕組み

→これが3月末までの制度設計でした。普及していないのに高い負担で、使う人もなかったのです。

←ところが4月から負担を逆転させ、この先1年で保険証を廃止に向かわせる政策が始まりました。

全国民に顔認証カードを持たせるぞ、がホンネ

マイナ保険証に関連する医療費の加算

	初診		再診	
	マイナ保険証	従来の保険証	マイナ保険証	従来の保険証
マイナ保険証対応の医療機関	2点（2点）	6点（4点）	0点（0点）	2点（0点）

※未対応の医療機関では加算は付かない。加算が付くのは月1回、1点＝10円、（ ）内は3月までの点数
患者の負担はそれぞれ1～3割。原則10円未満を四捨五入するので、窓口負担額が増えないこともある

保険証の制度を替えてまでマイナカードを普及させたいのは、本末転倒。

一人一人に本人確認を求めるのは平時では無い、非常事態時＝戦時の準備だと、私は危惧します。既にマイナンバー自体は住民票にも預金通帳にも連動し設定されています。カード義務化が目的です。

詐欺そのものの政治が続く

ホンネを裏で貫き「今までと同じ」と説明は嘘で固める。政治に嘘ありと言っても、詐欺ですよ。

いせ在宅医療クリニック
ise home care clinic

自宅での人生を
最期まで支援します

〒516-0805
三重県伊勢市御薗町高向 927
電話　0596-20-8104
ファクス　0596-20-8105
メール　homecare@kr.tcp-ip.or.jp
http://isezaitaku.com

→バックナンバ閲覧可